

<別紙 2 >科目の内容等

① 科目名：数学Ⅰα

(ア) 科目内容： 数と式、2次関数、図形と計量、データの分析

(イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし

(ウ) 目標： 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養う。数学のよさを認識できるようにし、それらを活用する態度を養う。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 3,519 円

② 科目名：数学Ⅱα

(ア) 科目内容： いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分の考え

(イ) 受講にあたっての前提条件： 数学Ⅰαを履修済み（数学Aを履修済みが望ましい。）

(ウ) 目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。概念や原理・法則などを既習の知識と関連付け、より深く体系的に理解し、事象を数学化したり、表現・処理したりするための技能を身に付ける。粘り強く「柔軟」に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 1,743 円

③ 科目名：科学と人間生活

(ア) 科目内容： 科学技術の発展、物質の科学、生命の科学、光や熱の科学、宇宙や地球の科学、これからの科学と人間生活

(イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし

(ウ) 目標： 自然と人間生活の関わり、現代や将来の社会において科学技術が果たしてきた役割について学習し、身近な事物・現象に対する興味関心を高め、理解を深めるとともに、科学的な見方や考え方を養う。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 1,415 円

④ 科目名：生物基礎α

(ア) 科目内容： 生物の特徴、生物の共通性と多様性、細胞とエネルギー、遺伝子とその働き、遺伝情報と DNA、遺伝情報の分配、遺伝情報とタンパク質の合成、生物の体内環境の維持、体内環境と恒常性、体内環境の維持のしくみ、生物の多様性と生態系、植生の多様性と分布、生態系とその保全

(イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし

(ウ) 目標： 地球上で互いに深い関係を保ちながら生活している多様な生物の生命現象や自然とのかかわりを研究する生物学の基礎的な内容を学ぶ。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 2,582 円

⑤ 科目名：化学基礎α

(ア) 科目内容： 物質の構成、物質と科学結合、物質の変化

(イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし

(ウ) 目標： 自然の事物、現象に関する題材から、基本的な概念、原理、法則を理解するとともに、実験や観察を通して、科学的な自然観を身につける。また、物質に着目して学習することで、現代社会をより広い視野で捉え、判断する力を養う。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 1,492 円

⑥ 科目名：政治・経済

(ア) 科目内容： 民主政治の基本原則、日本の政治機構、現代の国際政治、現代の経済

(イ) 受講にあたっての前提条件： 特になし

(ウ) 目標： 政治・経済の基本的な枠組みや事象を理解し、今日的な課題や問題意識を持つことにより、国際的な視野を持ちながら民主主義社会の中で主体的に生きる主権者としての意識を育む。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 1,485 円

⑦ 科目名：工芸 I

(ア) 科目内容： 木（木工）、土（陶芸）、金属（金工）、布（染色）などさまざまな素材を使い、基礎的な工芸の実習を通して、作る楽しみを味わい、生活と工芸の関わりを考える。

(イ) 受講にあたっての前提条件： 基礎的な工具についての知識や技能がある。生徒と共に学ぶ姿勢がある。

(ウ) 目標： 工芸の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の工芸や、工芸の伝統、文化と幅広く関わる資質・能力を身につける。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 830 円、 実習費： 2,000 円

⑧ 科目名：演劇概論

(ア) 科目内容： 日本の近代演劇の流れ、世界の演劇史、社会の変化と演劇の関わり、演劇と他の舞台芸術との違い、演劇上演における出演者やスタッフの役割の仕事内、舞台作品制作における演出の役割、グループ演出による演出体験と発表

(イ) 受講にあたっての前提条件： 生徒と共にグループワークができる。

(ウ) 目標： 演劇の本質や演劇の歴史などについて理解するとともに、創意工夫を生かした演劇表現を創造するために必要な技能を身につけるようにする。演劇の表現意図とそれに合った表現方法について考え、演劇作品に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。主体的・協働的に演劇の幅広い活動に関わり、舞台芸術により生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 無しの手定

⑨ 科目名：戯曲研究 A

(ア) 科目内容： 戯曲の役割と文学としての特徴、名作戯曲の作品研究、劇構造の分析、登場人物の役割および性格、短編戯曲のプロット創作

(イ) 受講にあたっての前提条件： 生徒と共にグループワークができる。

(ウ) 目標： 演劇における戯曲の役割と、表現の特徴を理解し、戯曲を解釈するために必要な技能を身につけるようにする。戯曲の解釈や主題を自らの視点で考え、プロット制作において表現主題を作成し、自らの意図を表現できるようにする。主体的・協働的に戯曲を解釈する活動に関わり、舞台芸術により生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。

(エ) 教科書・副教材にかかる費用： 無しの手定

⑩ 科目名：戯曲研究 B

(ア) 科目内容： 戯曲創作の技法、短編戯曲の創作・相互評価、戯曲の構造や媒体による比較

- (イ) 受講にあたっての前提条件： 生徒と共にグループワークができる。
- (ウ) 目標： セリフ及びト書きの書き方や、プロットや登場人物の設定などを理解し、戯曲制作のために必要な技能を身につけるようにする。短編戯曲の創作を通して表現の意図と創造的な工夫について考え、作品の相互批評に取り組み、自己の価値観を高めて演劇に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。主体的・協働的に戯曲を創作する活動に関わり、舞台芸術により生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 無しの手定

⑪ 科目名：身体表現

- (ア) 科目内容： 身体による表現の本質、即興・模倣による動きの創出、集団の中での他者理解・自己理解と表現の広がり、発表会に向けた取り組み
- (イ) 受講にあたっての前提条件： 生徒と共にグループワークができる。
- (ウ) 目標： 人間の身体の構造や動きについて理解し、身体表現をするために必要な技能を身につけるようにする。自分の個性を表現できる動きを考え、他者とともに自己を理解して表現できるようになる。主体的・協働的に身体表現の幅広い活動に関わり、舞台芸術により生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。
- (エ) 教科書・副教材にかかる費用： 無しの手定